

## 臨床研究「椎骨動脈解離の診断における D-dimer の臨床的有用性の検討」について

筑波大学附属病院 救急・集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

様々な傷病者に対応する救急診療において、適切な治療を迅速に行うためには同様に適切かつ迅速な診断を行う必要があります。椎骨動脈解離は若年者の脳卒中の原因として代表的なものであり、時に致死的な転帰を辿ることがあります。確定診断には CT や MRI などの画像検査が必要ですが、中には無症状の患者もいるため、誰を臨床的に疑うかが非常に重要となってきます。D-dimer は血液凝固系のマーカーとして近年注目されており、大動脈解離などを疑う尺度としては非常に有用であることが示されています。椎骨動脈解離においても D-dimer が有用な指標かどうかの研究はこれまでになされたことがないため、当院のデータを用いて臨床的に有用かどうかの検討をします。

### ② 研究対象者

2013 年 1 月 1 日～2020 年 6 月 30 日

対象者：上記期間に筑波大学附属病院救急外来をめまいを主訴に受診した患者様

### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021 年 12 月 31 日まで

### ④ 研究の方法

当院救急外来をめまいを主訴に受診した患者のうち、CT または MRI などの画像検査を行い、尚且つ入院となった患者の D-dimer の値を抽出し、椎骨動脈解離の診断となった患者とそれ以外の診断となった患者を比較することで椎骨動脈解離における D-dimer の有用性を検討します。また、その他の血液検査のデータや脈拍・血圧などの指標も同時に解析することで、椎骨動脈解離の診断に有用な臨床的尺度を検出します。

### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

血液データ、診察データ、その他診療記録

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

### ⑦ 研究機関名および研究責任者名

救急・集中治療科 下條 信威

### ⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：救急・集中治療科 下條 信威

電話：029-853-3210（救急部 下條、または 秘書 石井）

平日：9:00～17:00